



# 花と緑のぐんまづくり～ふるさとキラキラフェスティバル～を見据えて 見せ場づくり、イベントづくりワークショップを開催しました

富岡市 都市計画課

世界遺産の隣に、「誰もが行ってみたいまち」を花や緑でどのように表現すればよいか「おもてなし表現」の第一人者である東京大学の堀繁教授の講演を参考に、立ち寄りたくなる、行ってみたいくなる場所・イベント・食べ物を考えるワークショップを12月13日と20日の2日間開催しました。

1日目はこのイベントでは何を指すか、3班に分かれまちあるきを行いながらアイデアを出し合い地図に整理しました。

2日目は前回のアイデアを基に、いくつかの視点から実現可能か評価しキャッチフレーズを考案しました。

今回は地域づくり協議会、高崎商科大学、スマイルとみおかの皆さんに参加いただきましたが、「花と緑のぐんまづくり 2017 in 富岡・安中(仮)」に向けての気運が高まり、今後のボランティア活動でもご協力いただけるようになりました。こういった活動を一過性で終わらせることなく、まちづくりのきっかけになる事を願い閉会しました。



まちあるきの様子



ワークショップの様子



# ぐんまのまちと花の魅力を発信 ～第65回 関東東海 花の展覧会～

群馬県 都市計画課

平成28年2月12日(金)～14日(日)に東京池袋サンシャインシティ文化会館2階展示ホールで開催された「第65回 関東東海 花の展覧会」を観てきましたので、その概要を紹介いたします。

この展覧会は、花に対する理解を深め、一層の花の消費拡大を図ることを目的として、関東東海地域の1都11県と花き関係6団体が主催する、日本で最大規模の伝統ある花の展覧会で、今年は群馬県が開催当番県を担当していました。

「絹の道から花の道へ」をテーマとした特別展示として、世界遺産登録された富岡製糸場などの絹産業の歴史を、群馬の花々とともに展示・紹介がありました。

関東東海地域からの見事な花々の競演に、私のみならず来場者皆が魅了されているようでした。

